Shinsei

HALLO Toki Pri

2インチ タイムプリンタ

本体取扱説明書



株式会社
新盛インダストリーズ

■ はじめに

このたびは、タイムプリンタ[Toki Pri]をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。本装置は、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発されたタイムプリンタです。

ご使用の前に、この取扱説明書を充分お読みいただき、本装置を正しくご使用下さいますようお願い致します。また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐにご利用できますようお手元に保管して下さい。

■ 電波障害自主規制について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■　ご使用上のご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で転載・複製することは禁止されています。

② 本書の内容に関しましては、将来予告無しに変更することがありますので、予めご了承下さい。

③ 本書は内容につきまして万全を期しておりますが、万一ご不明な点、誤りおよび記載漏れなどお気付きの点がございましたら販売店またはメーカーにご連絡下さい。

④ 本書の運用結果につきましては、前項の記載に関わらず一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

⑤ 本装置を使用することにより、または本装置で発行したラベルなどを使用することにより、あるいは故障・修理などでデータが消えたり変化したりすることにより発生した損害などにつきましては、一切責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

■目次

■目次

1　安全にご使用いただくために

◆ここに示してあります注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

◆本装置をご使用いただいた方や他の人々への危害や財産などの損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしてあります。その絵表示と意味は、次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について

	「してはいけないこと」を意味しています。
	「気をつけるべきこと」を意味しています。
	「しなければいけないこと」を意味しています。

警 告

タイムプリンタ本体・AC アダプタなどは、分解または改造しないで下さい。

◆破損、ショート、発火の恐れがあり、感電･火傷･火災・故障の原因になります。





タイムプリンタ本体を落としたり、ぶつけたりするなどの「強いショック」を与えないで下さい。

◆破損、ショート、発火の恐れがあり、感電･火傷･火災・故障の原因になります。





タイムプリンタ本体・AC アダプタなどに水やホコリなどがかからないようにして下さい。

◆そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。





注 意

カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、手を触れないで下さい。



◆使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。



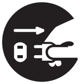
◆また、手油がサーマルヘッド劣化の原因になりますので、絶対に触らないで下さい。

本装置を不安定な所に置かないで下さい。

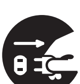


◆落下して、けがや故障の原因になることがあります。

本装置の使用後、または長時間使用しないときは、安全のためにACアダプタの電源プラグをACコンセントから抜いて下さい。



定期的にACアダプタの電源プラグをACコンセントから抜いてホコリを取り除いて下さい。



◆差し込み部にホコリがたまると、漏電・火災・感電の原因になります。



２　より永くご使用いただくために

お取り扱い上のご注意

① 本体には、内蔵時計を搭載していますので、定期的に時刻が合っているかどうか確認をして下さい。
　※発行画面には、常に時刻が表示されていますので、時刻がずれたら、すぐに時刻合わせを行って下さい。
　※詳しくは、項目 11-4 の「内蔵時計設定」をご覧下さい。

② ラベルが装着されていない状態で、ラベルの発行を行わないで下さい。

③ 本装置は、過度な電源ノイズによって、内蔵しているプログラムの設定値が変化したり破壊される場合がありますので、印字内容が正しいことを確認してから使用して下さい。

④ 極端な温・湿度の条件下でのご使用は、避けて下さい。

【環境】

使用環境温度 →　＋　５°～　＋３５°Ｃ
使用環境湿度 →　　２５　～　　８０％RH
（但し、無結露状態）
保存環境温度 →　－１０°～　＋６０°Ｃ
保存環境湿度 →　　１０　～　　８０％RH
（但し、無結露状態）

⑤ 冷暖房機の近くや直射日光の当たる場所に放置したり、保管したりしないで下さい。

⑥ 良好な印字品質・性能を維持するために、弊社指定のラベルを使用して下さい。

⑦ 項目１２「始業時および日常の点検のお願い」をご覧頂き、本装置を定期的に点検して下さい。

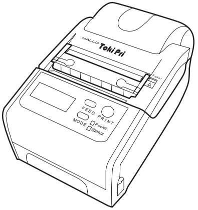
3　本装置の確認

本装置は、タイムプリンタ本体と付属品から構成されていますので、梱包品の内容をご確認下さい。

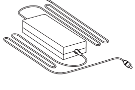
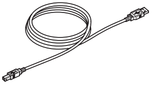
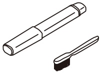
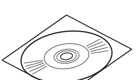
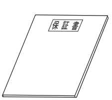
3-1 タイムプリンタ本体

（以下「本体」と言います。）

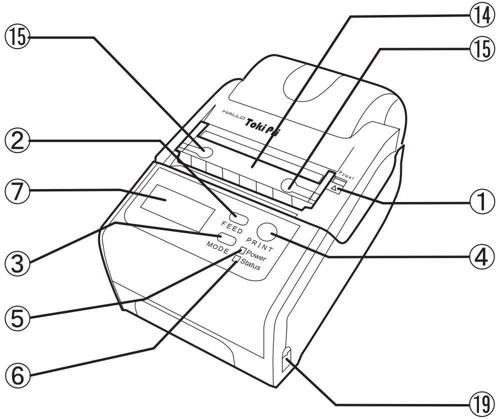
本体には、ギャップラベル(40mmx28mm)とサンプルデータが1件登録され、「剥離モード」→「PRINT キー発行」に設定されています。

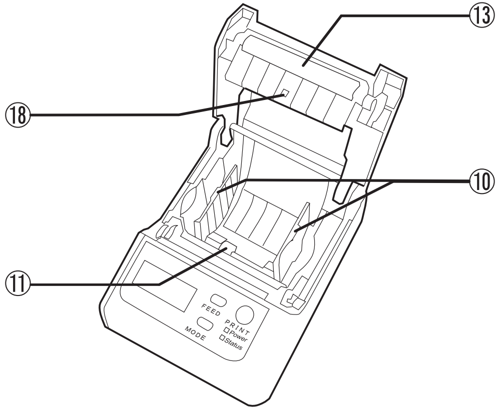


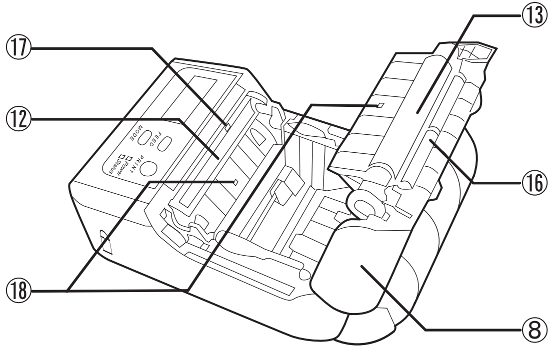
3-2 付属品

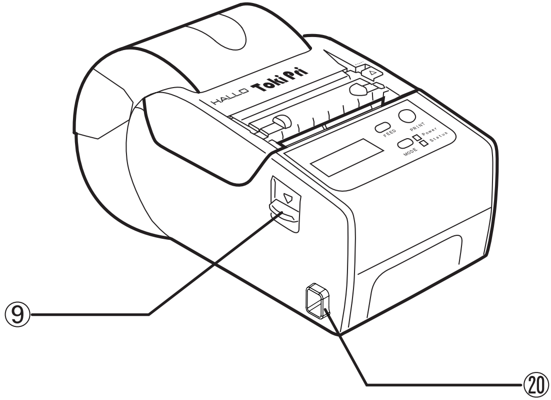
AC アダプタ (CV-74)	USB ケーブル (mini-B)	ヘッドクリーナー & ブラシ
		
CD-ROM	本体取扱説明書	保証書
		

4　各部の名称と機能


⑭
⑮
⑮
②
⑦
①
③
④
⑤
⑥
⑲
HALLO Toki Pri
Power
FEED
PRINT
MODE
Power
Status


⑬
⑱
⑩
⑪
FEED
PRINT
MODE
Power
Status


⑬
⑰
⑫
⑯
⑱
⑧
MODE
FEED
PRINT
Power
Status


HALLO
Toki Pri
FEED
PRINT
Power
Status
MODE
⑨
⑳

番号	名称	機能
①	Power スイッチ	電源を ON/OFF します。
②	FEED キー	◆発行画面で白紙ラベルを発行します。 ◆データ選択画面でデータを選択します。 ◆設定画面１および設定画面２で設定モードの選択を行います。 ◆長押し（約５秒）すると、ラベルセンサーの自動調整を行います。
③	MODE キー	◆発行画面をデータ選択画面に切替します。 ◆長押し（約４秒）すると設定画面１に切替します。 ◆データ選択画面でデータを設定して発行画面に戻ります。 ◆設定画面１で設定画面２に切替します。（LCD チェックを除く） ◆テスト印字の設定画面２でラベルを発行します。
④	PRINT キー	◆発行画面でラベルを発行します。 ◆データ選択画面でデータを設定して発行画面に戻ります。 ◆設定画面１または設定画面２で選択項目を設定して発行画面に戻ります。

番号	名称	機能
⑤	Power LED	電源が ON したときに、LED が緑色点灯します。
⑥	Status LED	各種エラー表示したときに、LED が赤色点灯します。
⑦	LCD	日付表示やデータ名などを表示します。
⑧	カバー	ラベルを着脱するときに、開閉します。
⑨	カバー開放レバー	カバーロックを解除してカバーを開きます。
⑩	ラベルホルダ	ラベルをガイドします。
⑪	ストッパー	ラベルホルダを開いた状態で保持します。
⑫	サーマルヘッド	ラベルに印字をします。
⑬	プラテンローラ	ラベルをサーマルヘッドと挟んでラベルを発行します。

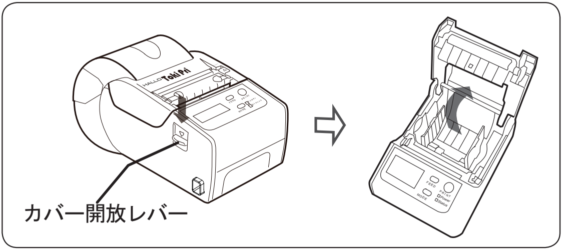
番号	名称	機能
⑭	剥離フレーム	印字されたラベルを台紙から剥離させます。
⑮	剥離フレーム 開放レバー	剥離フレームのロックを解除して剥離フレームを開きます。
⑯	剥離ローラ	剥離発行の場合に、台紙を発行口へ排出します。
⑰	剥離センサー	剥離されたラベルの有無を検知します。
⑱	ラベルセンサー	ラベル位置を検出します。
⑲	USB 用 コネクタカバー	このカバーを開いて、パソコンと接続します。
⑳	DC 入力端子	AC アダプタの DC 出力端子と接続します。

5　ラベルのセット方法

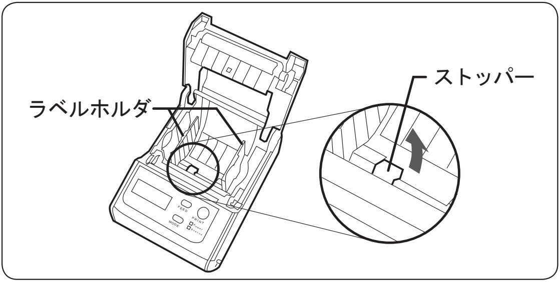
本体は、剥離発行と連続発行ができます。
それぞれの場合に合わせてラベルをセットして下さい。

5-1 剥離発行の場合

① カバー開放レバーを押し下げて、カバーを開きます。



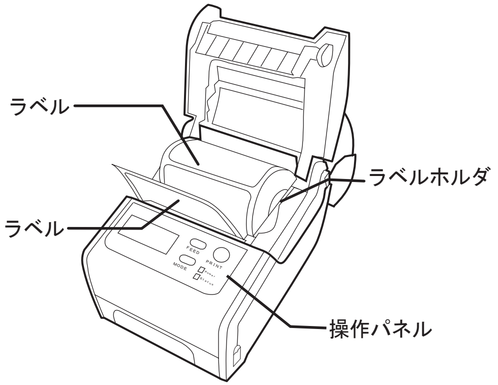
② ストッパーを上に持ち上げて、ラベルホルダをラベルの幅に合わせます。幅に合ったことを確認したら、ストッパーを下げてください。



⚠注 意
ストッパーを上げないと、ラベルホルダは動きません。

③ ラベルが図の向きになるようにラベルをセットします。

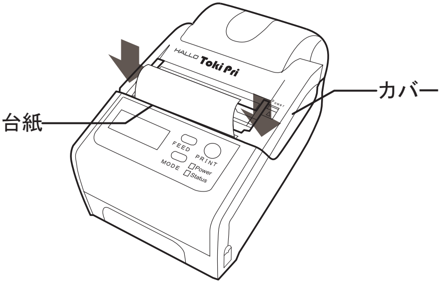
収納できるラベルサイズは、項目１４の「本体仕様」をご覧下さい。



⚠注 意

カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、手を触れないで下さい。
- ◆使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。
- ◆また、手油がサーマルヘッド劣化の原因になりますので、絶対に触らないで下さい。

④ 先端のラベルを２～３枚取り除き、台紙だけの状態のまま手前に引き出し、矢印のようにカバーの両端をカチャと音がするまでゆっくり閉めて下さい。カバーが固定されます。

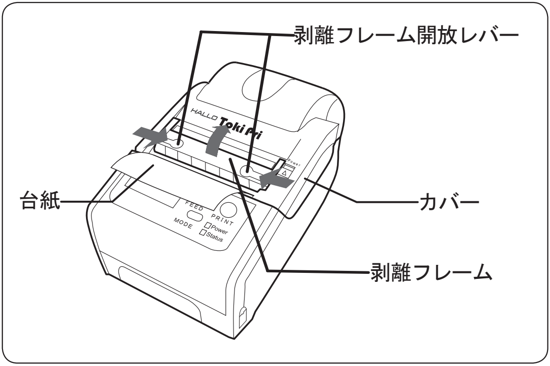


⚠注 意

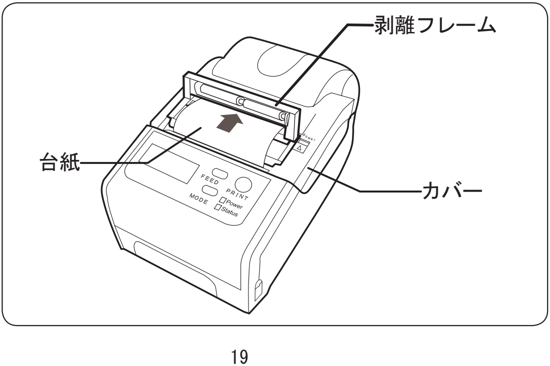
◆カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。

◆手を挟まないように注意して下さい。

⑤ 両側の剥離フレーム開放レバーを内側にスライドさせて持ち上げるようにすると、剥離フレームが開きます。

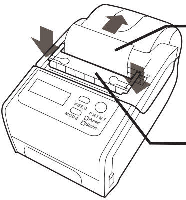


⑥ 台紙を矢印のように剥離フレームとカバーの間に通します。



⑦ 台紙がたるまないように軽く引っ張りながら、剥離フレームをカチャと音がするまでゆっくり閉めて下さい。

剥離フレームが固定されます。



⚠注 意

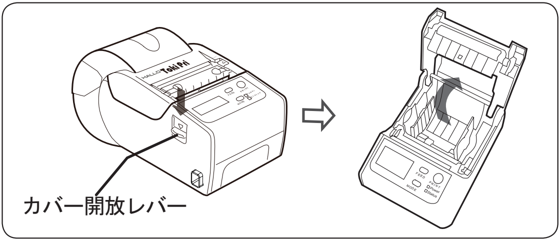
◆剥離フレームを勢いよく閉めると故障・破損の原因になります。

◆手を挟まないように注意して下さい。

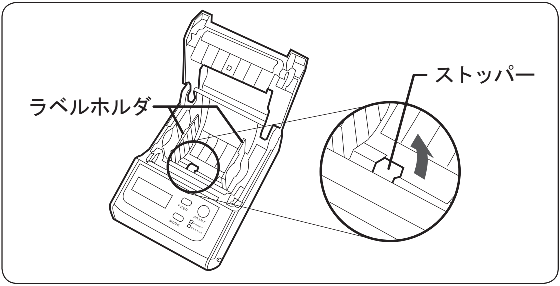
◆剥離フレームを閉める時に、台紙がたるまないようにして下さい。

5-2 連続発行の場合

① カバー開放レバーを押し下げて、カバーを開きます。



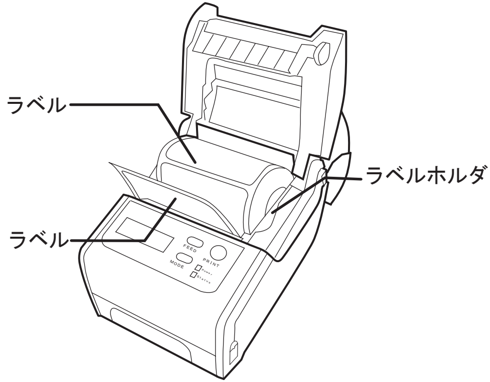
② ストッパーを上に持ち上げて、ラベルホルダをラベルの幅に合わせます。幅に合ったことを確認したら、ストッパーを下げて下さい。



⚠注 意
ストッパーを上げないと、ラベルホルダが動きません。

③ ラベルが図の向きになるようにラベルをセットします。

収納できるラベルサイズは、項目１４の「本体仕様」をご覧下さい。



⚠注 意

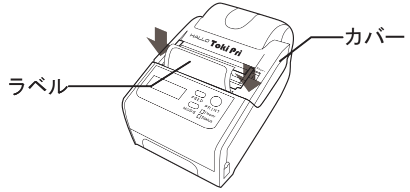
カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、手を触れないで下さい。

◆使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。

◆また、手油がサーマルヘッド劣化の原因になりますので、絶対に触らないで下さい。

④ ラベルを手前に引き出し、矢印のようにカバーの両端をゆっくりカチャと音がするまで閉めてください。

カバーが固定されます。



⚠注 意

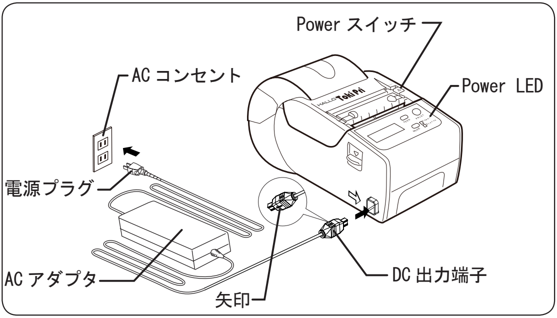
◆カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。

◆手を挟まないように注意して下さい。

6　電源の ON-OFF

6-1 AC アダプタの接続

AC アダプタの DC 出力端子の矢印を図の矢印に向かい合うように本体の DC 入力端子に接続し、電源プラグを AC コンセントに接続します。



6-2 電源の ON

Power スイッチを上方にスライドさせて、Power LED が緑色点灯してから手を離すと電源が ON になります。

◆電源を ON にすると、画面に Version が表示された後、発行画面を表示します。

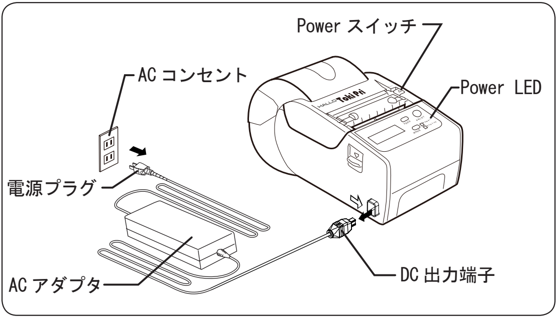
連続モードの場合に表示します。

Version ***-***-****	⇒	**/**/**　　**:** ○ ｻﾝﾌﾟﾙ・お買上

（発行画面）

6-3 電源の OFF

もう一度、Power スイッチを上方にスライドさせて、緑色点灯していた Power　LED が消灯すると電源が OFF になります。

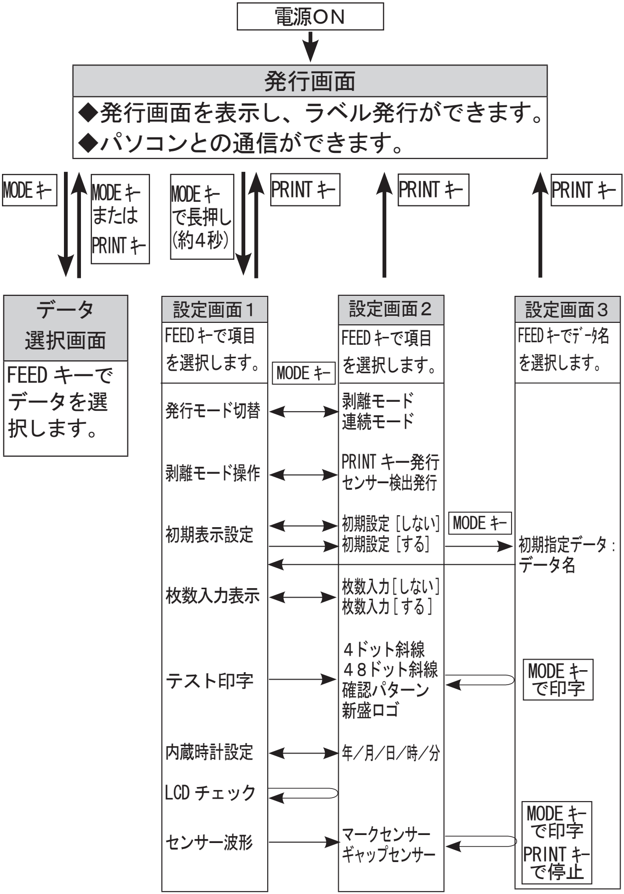


⚠ 注 意

AC アダプタの DC 出力端子を本体の DC 入力端子から取り外す場合や AC アダプタのプラグを AC コンセントから取り外す場合は、必ず本体の Power スイッチを OFF にして下さい。

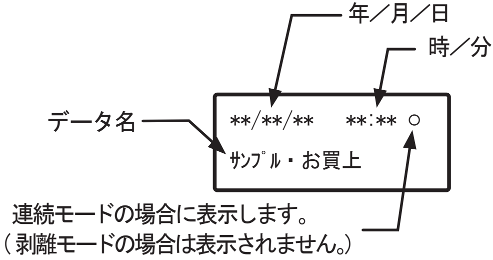
7　各種画面と画面表示

【各種画面の概要】



① 発行画面

電源を入れると Version 番号を表示した後に、発行画面を表示します。



◆ PRINT キーでラベル発行ができます。

◆パソコンと通信することができます。
作成したデータおよびラベルの各種設定データをパソコンから本体に登録できます。

② データ選択画面

発行画面で MODE キーを押すとデータ選択画面に切替ります。



◆ FEED キーでデータを選択することができます。

◆ MODE キーまたは PRINT キーでデータを設定し、発行画面に戻ります。

③ 設定画面１

発行画面で MODE キーを長押し（約４秒）すると設定画面に切替ります。

発行モード切替

剥離モード操作

◆ FEED キーで設定項目を選択することができます。

◆ MODE キーで設定画面２に切替ります。
(LCD チェックを除く）

◆ PRINT キーで発行画面に戻ります。

④ 設定画面２

◆ FEED キーで設定項目を選択することができます。

◆ MODE キーで設定または印字します。

◆ PRINT キーで選択中の項目を設定して発行画面に戻ります。

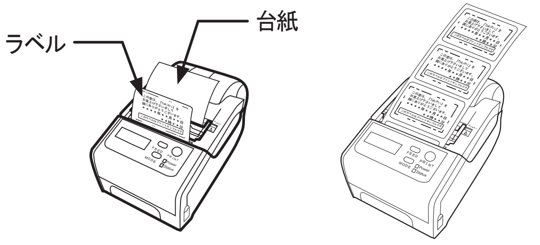
⑤ 設定画面３

◆ MODE キーで設定し、設定画面１に戻ります。

◆ PRINT キーで選択中の項目を設定して発行画面に戻ります。

8　ラベルの発行方法

本体は、剥離発行と連続発行ができます。
剥離発行は、ラベルを台紙と剥離して発行します。
連続発行は、ラベルを台紙に貼着したまま発行します。



（剥離発行）　　　　（連続発行）

① 剥離発行は、「PRINT キー発行」と「センサー検出発行」を選択することができます。
また、それぞれの発行方法には、発行枚数を設定する場合または設定しない場合を選択することができます。

※詳しくは、項目 11-2 の「剥離モード操作」および項目 11-4「枚数入力表示」をご覧下さい。

◆項目 5-1 の「剥離発行の場合」に合わせてラベルをセットして下さい。

② 連続発行は、発行枚数を設定する場合または設定しない場合を選択することができます。

※詳しくは、項目 11-4「枚数入力表示」をご覧下さい。

◆項目 5-2 の「連続発行の場合」に合わせてラベルをセットして下さい。

パソコンから本体へ新規にデータを登録した場合

◆はじめに、FEED キーを押して下さい。
「***　Check Sensor　***」と印字したラベルを発行します。
（ラベルセンサーを自動調整します。）

※受信したデータ全てに使用するラベルで、１度ラベルセンサーの自動調整を行って下さい。
（各データとも、最初の１枚はラベルセンサーの自動調整となります。）

◆もう一度、FEED キーを押して下さい。
白紙ラベルを１枚発行して、位置合わせを行います。

⇓

以後、発行画面で PRINT キーを押すとラベルを発行することができます。

※本体への登録方法は、項目１０の「本体へのデータ登録方法」をご覧下さい。

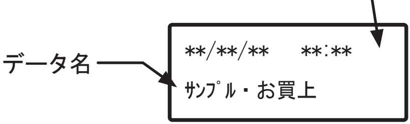
本体には､ギャップラベル（40mmx28mm）とサンプルデータが１件登録され、剥離発行の「PRINT キー発行」に設定されています。

【PRINT キー発行】を参照して、サンプルラベルを発行してみましょう！

8-1 剥離発行

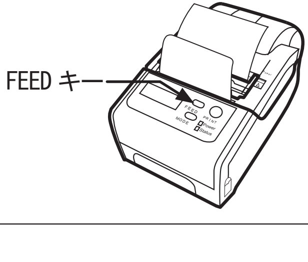
電源を ON にすると、発行画面を表示します。

剥離モードの場合は、○印が表示されません。



※ラベル交換などカバーを開閉した時は、FEED キーを押して下さい。

白紙ラベルを１枚発行し、位置合わせを行います。



【PRINT キー発行】

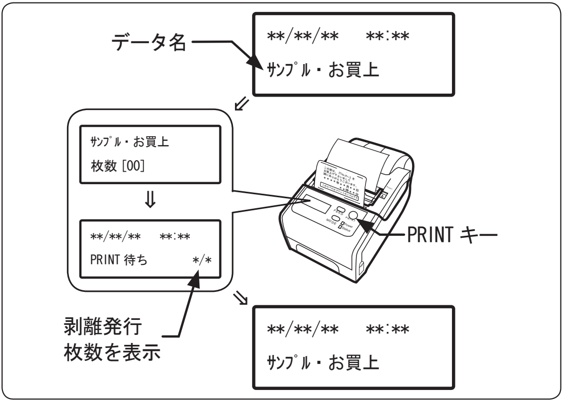
枚数入力表示を［する］に設定した場合

◆発行画面でPRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を設定します。

※ FEED キーで (+1) 加算、長押しで (+5) 加算します。
MODE キーで (−1) 減算、長押しで (−5) 減算します。

◆ PRINT キーを押すとラベルを１枚だけ剥離発行し、PRINT 待ち画面になります。
剥離発行されたラベルを取り除いて、PRINT キーを押すと次のラベルを１枚だけ剥離発行し、設定された発行枚数まで剥離発行し、終了すると発行画面に戻ります。

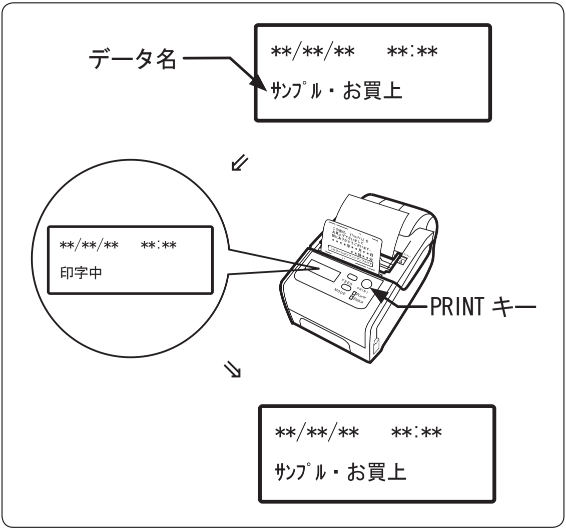
◆途中でPRINT キーを長押しすると、発行を停止し発行画面に戻ります。



※発行枚数を［00］のままPRINT キーを押した場合は、枚数入力表示を［しない］に設定した場合と同様になります。

枚数入力表示を［しない］に設定した場合

◆発行画面で PRINT キーを押すとラベルを１枚だけ剥離発行し、発行画面に戻ります。
剥離されたラベルを取り除いて、PRINT キーを押すと次のラベルを１枚だけ剥離発行し、発行画面に戻ります。



【センサー検出発行】

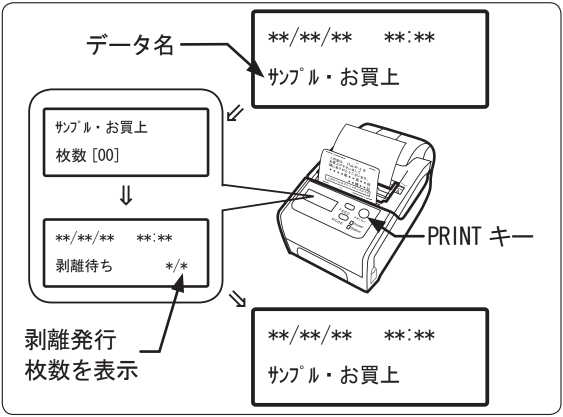
枚数入力表示を［する］に設定した場合

◆発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を設定します。

※ FEED キーで (+1) 加算、長押しで (+5) 加算します。
MODE キーで (−1) 減算、長押しで (−5) 減算します。

◆ PRINT キーを押すとラベルを１枚だけ剥離発行し、剥離待ち画面になります。
剥離されたラベルを取り除くと、自動的に次のラベルを１枚だけ剥離発行し、設定された発行枚数まで剥離発行し、終了すると発行画面に戻ります。

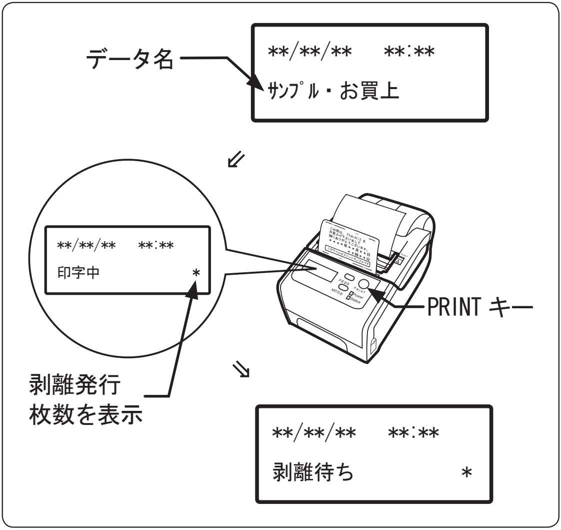
※途中で PRINT キーを押すと、発行を停止し発行画面に戻ります。



※発行枚数を［00］のまま PRINT キーを押した場合は、枚数入力表示を［しない］に設定した場合と同様になります。

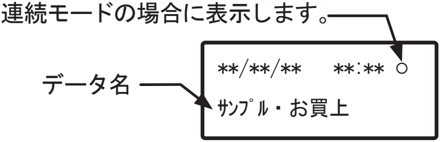
枚数入力表示を［しない］に設定した場合

◆発行画面で PRINT キーを押すとラベルを１枚だけ剥離発行し、剥離待ち画面になります。
剥離されたラベルを取り除くと、自動的に次のラベルを１枚だけ剥離発行し、剥離待ち画面に戻ります。
※途中で PRINT キーを押すと、発行を停止し発行画面に戻ります。



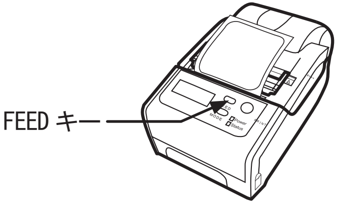
8-2 連続発行

① 電源を ON にすると、発行画面を表示します。



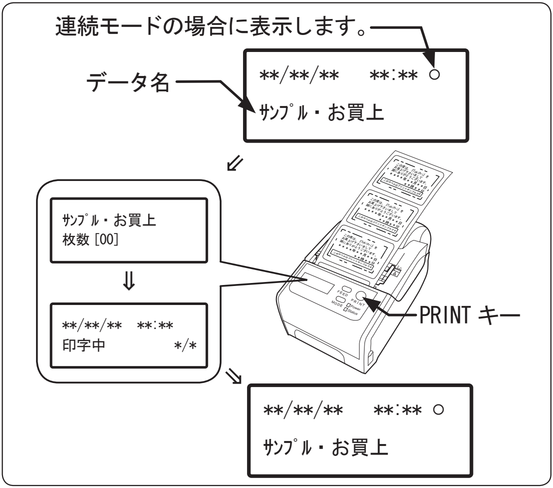
※ラベル交換などカバーを開閉した時は、FEED キーを押して下さい。

白紙ラベルが１枚発行され、位置合わせを行います。



【枚数入力表示を［する］に設定した場合】

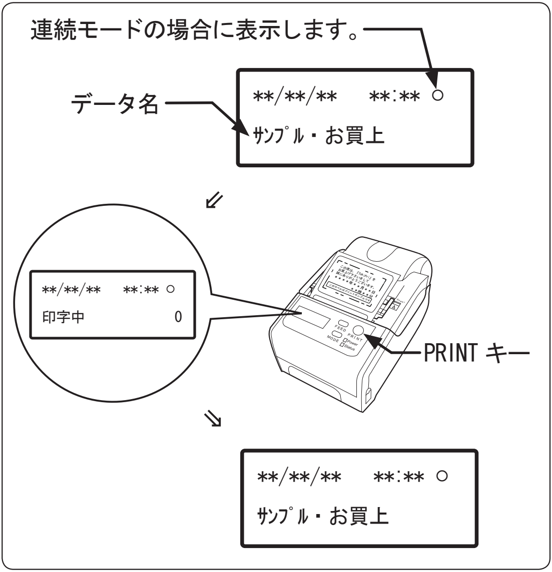
◆発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を設定します。
※ FEED キーで（+1）加算、長押しで（+5）加算します。
MODE キーで（−1）減算、長押しで（−5）減算します。
◆ PRINT キーを押すと、設定された発行枚数まで連続してラベルを発行します。
※途中で PRINT キーを押すと発行を停止し、FEED キーを押すと再発行します。
もう一度 PRINT キーを押すと発行を停止し、続けて PRINT キーを押すと発行画面に戻ります。



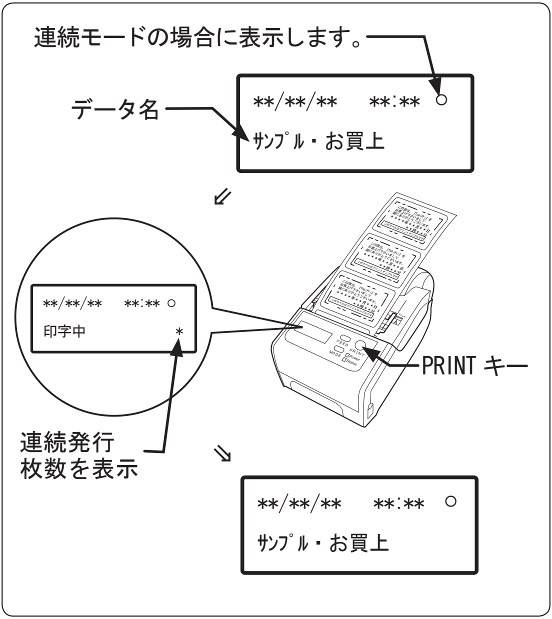
※発行枚数を［00］のまま PRINT キーを押した場合は、枚数入力表示を［しない］に設定した場合と同様になります。

【枚数入力表示を［しない］に設定した場合】

◆発行画面で PRINT キーを押すとラベルを１枚だけ発行し、発行画面に戻ります。



◆発行画面で PRINT キーを押し続けると、ラベルを連続発行し、PRINT キーを離すとラベル発行を停止し発行画面に戻ります。

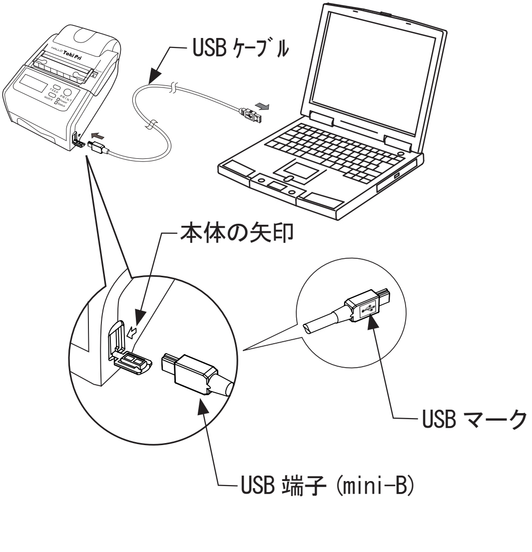


9　本体とパソコンとの接続方法

本体とパソコンをUSB ケーブルで接続します。

【接続方法】

下図のようにUSB 端子 (mini-B) 側のUSB マーク
と本体の矢印が向き合うように本体とパソコンを接続します。



１０　本体へのデータ登録方法

① 本体とパソコンを通信状態にします。

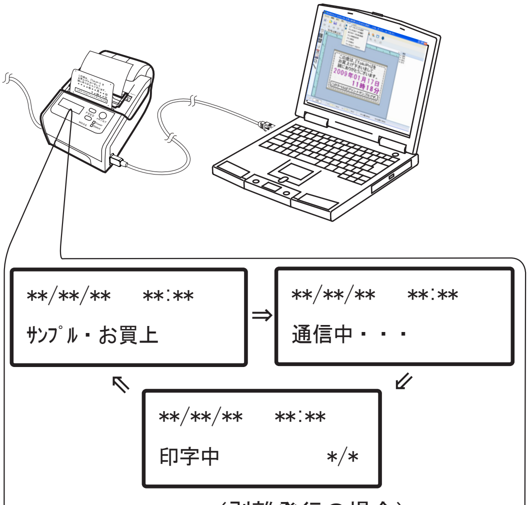
◆本体とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。

◆データの通信をする場合は、本体を発行画面にして下さい。

※[Label Partner For Toki Pri]では､作成したデータをプリンタ本体に登録しないで発行することができます。

登録前の印字確認をする時に便利です。

詳しくは、付属の CD-ROM[Label Partner For Toki Pri]の取扱説明書をご覧下さい。

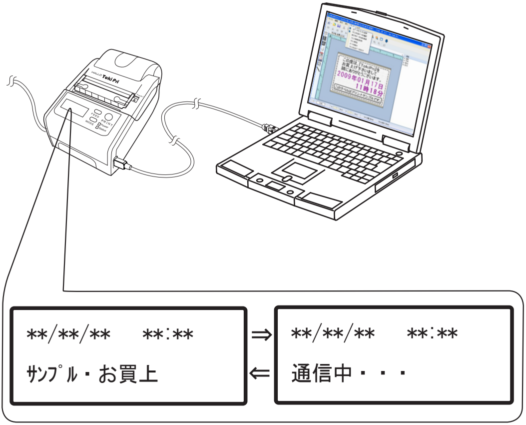


（剥離発行の場合）

② パソコンで作成したデータおよびラベルの各種設定データを本体に送信して登録します。

◆本体には、最大１２件までのデータが登録できます。

パソコンでのデータの作成、ラベルの各種の設定方法、データの送信方法は、付属の CD-ROM の [Label Partner For Toki Pri] の取扱説明書をご覧下さい。

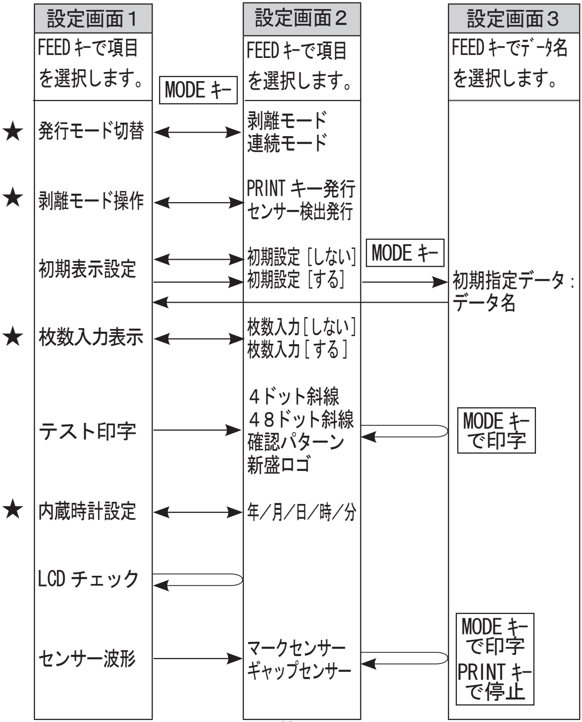


１１　本体の設定機能

発行画面で MODE キーを長押し（約４秒）すると、設定画面１に切り替り、本体の各種設定を手動で行うことができます。

★印の本体の設定は、パソコンからでもできます。

【設定画面の概要】



11-1 発行モード切替

設定画面１で「発行モード切替」を選択し MODE キーを押すと、「剥離モード」と「連続モード」の設定画面２に切替ります。

剥離モード

連続モード

◆ FEED キーを押すごとに「剥離モード」→「連続モード」に切替ります。

◆ MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定画面１に戻ります。

※ PRINT キーを押すと選択項目に設定され、発行画面に戻ります。

「剥離モード」に設定した場合は、次の 11-2「剥離モード操作」に進んで下さい。

11-2 剥離モード操作

剥離モードに設定した場合は、「PRINT キー発行」または「センサー検出発行」のいずれかを設定します。

◆ PRINT キー発行は、剥離発行されたラベルを取り除くと、PRINT キーを押すと次のラベルが１枚剥離発行されます。

◆センサー検出発行は、PRINT キーで発行開始し、以後、ラベルを取り除くと、自動的に次のラベルが１枚剥離発行されます。
発行を停止する場合は、PRINT キーを押してラベルを取り除きます。
再開する時は、PRINT キーを押します。

設定画面１で「剥離モード操作」を選択し MODE キーを押すと、「PRINT キー発行」と「センサー検出発行」の設定画面２になります。

PRINT キー発行
センサー検出発行

◆ FEED キーを押すごとに「PRINT キー発行」→「センサー検出発行」に切替ります。
MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定画面１に戻ります。

※ PRINT キーを押すと選択項目に設定され、発行画面に戻ります。

11-3 初期表示設定

電源ＯＮの時に、発行画面にいつも選択されたデータ名を表示させるかどうかの設定ができます。

① 設定画面１で FEED キーによって「初期表示設定」を選択し MODE キーを押すと、「初期設定［しない］」と「初期設定［する］」の設定画面２に切替ります。

初期設定［しない］
初期設定［する］

◆設定画面２で FEED キーを押すごとに「初期表示［しない］」→「初期設定［する］」に切替ります。

◆初期設定［しない］に設定すると、電源ＯＮの時に発行画面には最後に選択されたデータ名が表示されます。
◆初期設定［する］に設定すると、電源ＯＮの時に発行画面にはいつも選択されたデータ名を表示させることができます。

② 設定画面２で「初期表示［しない］」を選択して、MODE キーを押すと選択項目に設定されて設定画面１に戻ります。

◆ MODE キーの替わりに PRINT キーを押した場合は、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

③ 設定画面２で「初期表示［する］」を選択して、MODE キーを押すと「初期指定データ：」の設定画面３に切替ります。

データ名 →

初期指定データ：
ｻﾝﾌﾟﾙ・お買上

◆設定画面３で FEED キーを押すごとにデータ名を選択することができます。
MODE キーを押すと選択項目に設定されて設定画面１に戻ります。

※ MODE キーの替わりに PRINT キーを押した場合は、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

◆本体にデータが登録されていない時は、設定画面３が下図のように表示されて設定画面１に戻ります。

データ名 →

初期指定データ：
登録ﾃﾞｰﾀなし

11-4 枚数入力表示

ラベルを発行する時に、発行枚数入力画面を表示させるかどうかの選択をすることができます。

① 設定画面１で FEED キーによって「枚数入力表示」を選択し MODE キーを押すと、「枚数入力［しない］」と「枚数入力［する］」の設定画面２に切り替ります。

枚数入力［しない］
枚数入力［する］

◆設定画面２で FEED キーを押すごとに「枚数入力［しない］」→「枚数入力［する］」に切り替ります。

◆枚数入力［しない］に設定した場合、発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されずにラベルを発行します。
◆枚数入力［する］に設定した場合、発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を入力してラベルを発行します。

② 設定画面２で MODE キーを押すと、選択項目に設定されて設定画面１に戻ります。

◆ MODE キーの替わりに PRINT キーを押した場合は、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

11-5 テスト印字

印字パターンを選択して、テスト印字を行います。

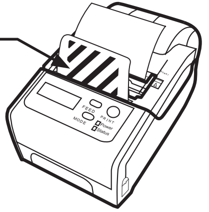
① 設定画面１で「テスト印字」を選択し MODE キーを押すと､｢印字パターン｣の設定画面２に切替ります。

４ドット斜線
４８ドット斜線

◆ FEED キーを押すごとに｢４ドット斜線｣→｢４８ドット斜線」→「確認パターン」→「新盛ロゴ」に切替ります。

◆ MODE キーを押すと選択された印字パターンがテスト印字されます。

４８ドット斜線の場合



（剥離発行の場合）



４ドット斜線　４８ドット斜線　確認パターン　新盛ロゴ

【印字パターン】

◆ PRINT キーを押すと、発行画面に戻ります。

11-6 内蔵時計設定

内蔵時計の時刻合わせを行います。

① 設定画面１で「内蔵時計設定」を選択しMODEキーを押すと、時刻の設定画面２に切替り，最初に「分」を設定します。

```
**/**/**    **:**
```

◆ FEEDキーを押すごとに分を[00-59]まで選択することができます。

③ MODEキーを押すと「分」が設定され、「時間」の設定に移動します。

```
**/**/**    **:**
```

◆ FEEDキーを押すごとに時間を[00-23]まで選択することができます。

④ MODEキーを押すと「時間」が設定され、「日にち」の設定に移動します。

```
**/**/**    **:**
```

◆ FEEDキーを押すごとに日にちを[01-31]まで選択することができます。

⑤ MODE キーを押すと「日にち」が設定され、「月」の設定に移動します。

```
**/**/**    **:**
```

◆ FEED キーを押すごとに月を [01-12] まで選択することができます。

⑥ MODE キーを押すと「月」が設定され、西暦下２桁の「年」の設定に移動します。

```
**/**/**    **:**
```

◆ FEED キーを押すごとに年を [00-30] まで選択することができます。

⑦ MODE キーを押すと設定された時刻から内蔵時計が作動し、設定画面１に戻ります。

※ PRINT キーを押すと設定された時刻から内蔵時計が作動し、発行画面に戻ります。

11-7 LCD チェック（通常は、使用しません。）

LCD の表示機能をセルフチェックします。

LED Test	⇒	OK

「ＯＫ」と表示されたら、正常です。

11-8 センサー波形（通常は、使用しません。）

マークセンサーとギャップセンサーの感度を波形としてラベルに印字します。

マークセンサー
ギャップセンサー

◆設定画面２で、MODE キーを押すとセンサー波形を印字し、PRINT キーを押すと停止します。
もう一度、PRINT キーを押すと発行画面に戻ります。

⚠注 意
ラベルを発行させる場合は、必ず連続モードに設定して行って下さい。

１２　始業時および日常の点検のお願い

12-1 印字の点検（テストパターンの印字）

ラベルを発行する時は、定期的にテストパターンを印字して下さい。
サーマルヘッドが正常に作動し、正しく印字できるかどうか定期的に確認して下さい。

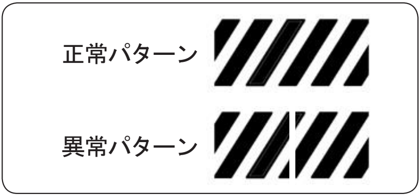
① 電源を ON にすると発行画面を表示します。

連続モードの場合に表示します。

Version ***-***-****	⇒	**/**/**　　**:** ○ ｻﾝﾌﾟﾙ・お買上

② 項目 11-5 の「テスト印字」のように、テストパターンを印字させます。

③ 印字されたテストパターンに白抜けがないことを確認して下さい。



万が一、異常パターンがテスト印字された場合は、故障です。
バーコードを印字している時は、使用を中止し、販売店またはメーカーにご連絡下さい。

12-2 ヘッドチェックの実行

本体に電源を入れると自動的にヘッドチェックを行います。

「ヘッド切れ」と表示した場合は､いずれかのキーを押すと、ラベルは発行できますが、サーマルヘッドの故障です。

販売店またはメーカーにご連絡下さい。

◆ヘッドチェックは目安です｡「ヘッド切れ」と表示した場合でも、テスト印字が正常だったり、テスト印字が異常でも「ヘッド切れ」を表示しない場合があります。

その場合は、テスト印字を優先して下さい。

12-3 サーマルヘッドのクリーニング

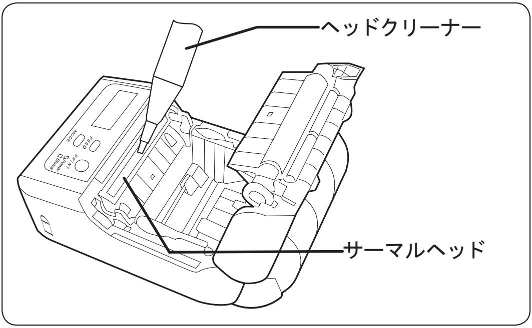
印字ヘッドに糊やゴミが付着すると、正常な印字ができなくなりますので、定期的にサーマルヘッドのクリーニングをして下さい。

① カバー開閉レバーを下に押し下げて、カバーを開けて、ラベルを取り出します。

② 毎日ご使用の際は、サーマルヘッドにゴミなどが付着していないか点検して下さい。

③ 付着物がある場合は、付属のヘッドクリーナーでクリーニングした後で、柔らかい布で丁寧に拭き取って下さい。

④ ヘッドクリーナーが汚れましたら、汚れた部分をカットして使用して下さい。



⚠注 意

◆サーマルヘッド用と指定されているヘッドクリーナー以外は、使用しないで下さい。

◆ドライバーなどの先の硬いもので付着物を取り除こうとすると、サーマルヘッドの損傷の原因になりますので、絶対に行わないで下さい。

◆印字の直後など、サーマルヘッドが高温になっている場合は、クリーニングをしないで下さい。火傷の原因になります。

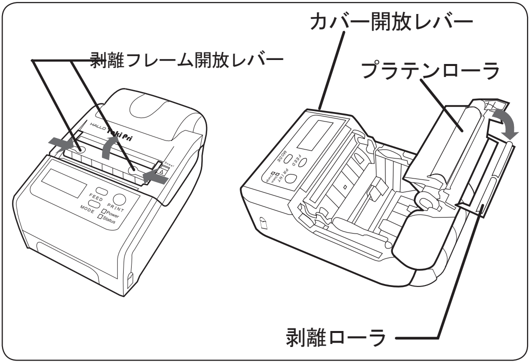
⑤ サーマルヘッドのクリーニング後にテスト印字を行って下さい。テストパターンに白抜けがないことを確認して下さい。

12-4 プラテンローラと剥離ローラのクリーニング

プラテンローラと剥離ローラに糊やゴミなどが付着している可能性がありますので、定期的にクリーニングをして下さい。

① 剥離フレーム開放レバーをスライドさせて、剥離フレームをオープンにします。

② カバー開閉レバーを下に押し下げ、カバーを開けてラベルを取り出します。



③ プラテンローラと剥離ローラを中性洗剤でぬらした柔らかい布を固くしぼり拭いて下さい。

⚠注 意
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は、本体またはプラテンローラなどを溶かすことが有り、トラブルの原因になりますので、絶対に使用しないで下さい。

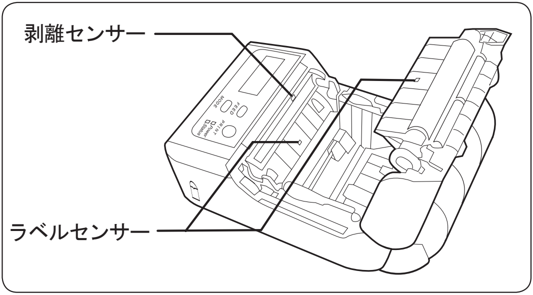
12-5 各センサー部のクリーニング

各センサー部にゴミなどが付着している可能性がありますので、定期的にクリーニングをして下さい。

① カバー開閉レバーを下に押し下げてカバーをオープンにし、ラベルを取り出します。

② ラベルセンサー部及び剥離センサー部を付属品のブラシでクリーニングして下さい。

◆ラベルが正しくセットされていても Status LED が赤色点灯している場合、ラベルセンサー部にゴミが付着している可能性があります。



12-6 ラベル走行路のクリーニング

ラベルの走行路に糊やゴミが付着しましたら、中性洗剤でぬらした柔らかい布を固くしぼり拭いて下さい。

１３　エラーメッセージ

本体に異常が発生した場合、Status LED が赤色点灯し、LCD に状態表示します。

◆対処方法に従って作業をして下さい。

番号	LCD	LED	状態	対処方法
1	印字再開	消灯	発行中に一時停止した状態を表します。	データに合ったラベルがセットされているか確認し、正しいラベルをセットの上、FEED キーを押して下さい。
2	冷却中（カウントアップ）	消灯	連続発行時にモータ過熱による休止状態を表します。	冷却後自動で発行を行います。
3	ヘッド冷却中	消灯	ヘッド加熱による冷却休止状態を表します。	冷却後自動で発行を行います。
4	ラベルエンド	赤色点灯	ラベルエンドを検知した状態を表します。	ラベルを交換すると、印字再開と表示しますのでFEEDキーを押して下さい。

5	カバーオープン	赤色点灯	カバーが開いている状態を表します。	カバーを閉じて下さい。
6	ヘッド切れ	消灯	ヘッド切れを検知した状態を表します。	電源がONの時に、常に表示されます。 いずれかのキーを押すとラベル発行はできますが、サーマルヘッドの故障です。販売店またはメーカーにご連絡下さい。
7	マークエラー	赤色点灯	マークを検知できないときの状態を表します。	データに合ったラベルがセットされているか確認して下さい。 ラベルを正しくセットし、FEEDキーを押して下さい。
８	時計電池交換	消灯	内蔵時計のバックアップ電池の電圧が降下した状態を表します。	メーカーにご返送下さい。

１４　本体仕様

仕様／モデル名		Toki Pri
印字部	印字方法	サーマルペーパーによる感熱 記録方式
	解像度	8 dot/mm （203dpi）
	印字速度	最大　90mm/ 秒
	有効印字範囲	幅 48mm x 長さ 100mm
メモリ	登録件数	最大１２件
外形寸法	縦 146mmX 横 85mmX 高さ 76mm（突起部を除く）	
重　量	290 g	
電　源	AC100 ～ 240V　50/60Hz	
表示部	LCD	128 × 32 ドット グラフィック LCD
	LED （2 個）	Power（緑） Status（赤）
操作部 （4 個）	Power スイッチ　　PRINT キー FEED キー　　MODE キー	
通信方式	当社独自コマンド方式	

１４　本体仕様（つづき）

<table>
<tr><td>インターフェース</td><td colspan="2">USB(mini-B)
Rev.1.0 準拠 (Full Speed)</td></tr>
<tr><td>発行方式</td><td colspan="2">連続発行
剥離発行</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ラベル</td><td>ラベルサイズ</td><td>幅　　　24 ～ 57mm
(ラベルの場合／台紙幅)
長さ　　16 ～ 100mm</td></tr>
<tr><td>ラベル外径</td><td>最大 70mm</td></tr>
<tr><td>種　類</td><td>裏マーク
ギャップ
マークなし
※巻き方向 : 表巻き専用</td></tr>
<tr><td>バーコード
シンボル</td><td colspan="2">JAN/EAN-8/13　UPC-A/E　ITF　CODE39
CODE128　NW7</td></tr>
<tr><td>2 次元コード</td><td colspan="2">QR　PDF417　GS1 DataBar</td></tr>
<tr><td>文字フォント</td><td colspan="2">パソコン搭載のフォント</td></tr>
<tr><td>自己診断機能</td><td colspan="2">エラーを LCD 表示</td></tr>
</table>

Shinsei

株式会社
新盛インダストリーズ
本社
東京都北区堀船4-12-15 〒114-0004
TEL.(03)3913-0131 FAX.(03)3913-9607
大阪営業所
大阪市中央区十二軒町4-2 岸本産業谷町ビル 〒540-0015
TEL.(06)6765-4381 FAX.(06)6765-4382
http://www.shinseiind.co.jp/

MM0502-1

第2版　平成24年7月20日